

令和5年度 第2次募集 選抜・評価方法

学校番号 20

千葉県立横橋高等学校 全日制の課程 普通科

1 選抜資料

(1) 調査書	中学校の校長から送付された調査書
(2) 面接	受検者1名・評価者2名の個人面接 検査時間：1人 約8分
(3) 各高等学校において別に定める検査 作文	学校が定めた次の検査の結果 実施形態：検査室で一斉に実施 検査時間：50分 字数：401字以上600字以内

2 評価項目及び評価基準

(1) 調査書〔320点満点〕

アの数値に、エについて加点（上限50点）したものを調査書の得点とする。

評価項目	評価基準
ア 教科の学習の記録	各教科の評定の全学年の合計値に $K=2$ を乗じた数値で評価する。 評定1または未評価の教科がある場合は、審議の対象とする。
イ 出欠の記録	3年間の欠席日数の合計が30日以上の場合は、審議の対象とする。
ウ 行動の記録	○が1つもない場合は、審議の対象とする。
エ 特別活動の記録・部活動の記録・特記事項	学級活動、委員会活動、生徒会活動、学校行事、部活動、その他の活動で特に積極的に取り組んだと認められる記述については、加点（上限50点）する。 なお、各種検定については、実用英語技能検定（英語検定）・日本漢字能力検定（漢字検定）・実用数学技能検定（数学検定）の3級以上を加点対象とする。
オ 総合所見	特に優れた内容と認められる記載がある場合は、総合的に判定する際の参考とする。

(2) 面接〔50点満点〕

2名の評価者が、次の2つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。評価dが1つでもある場合及び評価cが3つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 志望の動機・質問に対する応答・高校生活への意欲	志望の動機が明確である。質問内容を理解し、適切に回答することができる。 高校生活（学習・部活動等）に対する意識が明確である。
イ 身だしなみ・態度・言葉づかい	服装・頭髪等、身だしなみが整えられている。面接作法が身に付いている。 面接にふさわしい言葉づかいをすることができる。

(3) 各高等学校において別に定める検査（作文）〔100点満点〕

2名の評価者が、次の4つの評価項目ごとに、各評価基準に基づき、a（優れている）・b（標準的である）・c（標準に達していない）・d（問題がある）の4段階で評価する。

2名の評価者による、評価項目ごとの評価の組合せ（a a～d d）で得点化する。評価dが1つでもある場合及び評価cが6つ以上ある場合は、審議の対象とする。

評価項目	評価基準
ア 字数・全体構成	指定された字数に対して過不足がない。 文章の構成がわかりやすく論理的であり、全体としてのまとまりがある。
イ 言語表記	原稿用紙の使い方が適切である。 文字・単語の表記が適正で誤字や脱字がなく、語彙・文法を正しく用いている。
ウ 文章表現	口語表現がなく、文末の表現が適切である。 文章表現が適切であり、表現する意欲がある。
エ 内容	与えられたテーマに対して内容が適切である。 内容が自らの体験等に基づいており、説得力がある。

3 選抜方法

(1) 選抜の方法

「調査書の得点」、「面接の得点」及び「各高等学校において別に定める検査(作文)の得点」を全て合計した「総得点」により順位をつけ、選抜のための資料を慎重に審議しながら、第2次募集の募集人員までを入学許可候補者とする。

<総得点の満点の内訳>

調査書の得点		面接の 得点	各高等学校において 別に定める検査の得点 (作文)	総得点
評定(K=2)	加点			
270点	50点	50点	100点	470点

(2) その他

自己申告書が提出された場合には、選抜資料に加える。ただし、提出されたことにより、不利益な取扱いはない。